



学校便り 「志々伎の風」

No.15

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成31年1月31日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【当たり前のことを当たり前】

始業式に『あいさつ・返事』『くん・さん』『目を見て話を聞く』『ありがとう』の当たり前のことを当たり前に行えるようにと話をしました。人として生きる上で土台になるもので、とても大切なことです。油断すると崩れやすいものでもあります。再度、土台を固めて成長しようと話をしました。

【1年生のあいさつ、すごい！】

その1 バス停付近にいた同級生に、浦方面から歩いてきた子が、大きな声で「○○君、おはよう」（その距離20m）

それに対して、バス停付近にいた子が大きな声で「おはよう」

その2 バス停からの階段を登っていた子が、浦方面から歩いてきた子に大きな声で「おーい」

それに対して、大きな声で「おはよう」（その距離30m）

友達同士のあいさつは、かなり高いレベルです。

【親子で読書】

節分の夜、男が一人で酒を飲んでいると、外で「さむいよう」と声がします。



玄関を開けてみると、3匹の鬼たちが寒さに震えています。男は家に入れ、やがて宴会が始まります。最後は、福の神を巻き込んで…。

【ブラッシング教室】

授業参観の日、1・2年生は、学校歯科医の山崎先生ご夫婦によるブラッシング教室に参加しました。

歯磨きの大切さや磨き方、仕上げ磨きの仕方などを学んだ後、染め出し液を使って磨き残しを確認し再度歯磨きを行いました。



【メディア講習会】

1月16日の授業参観後に、3～6年生対象と保護者対象のメディア講習会を実施しました。メディア漬けになることによる脳への障害等の怖さや上手な付き合い方について学びました。自律できていない子どもだからこそ、大人が子どもと我が家のルールについて話し合って決めましょう。親子の対話能力を高めるチャンスです。

